



嘉
158

時 がらさる 一 露 雪

氣 化 言 不 順 何 承

國 の 為 め の 自 愛 幸

禱 を い 生 義 七 事 候

の 為 め 欺 侮 一 質 斯

と 身 體 靈 心 疾 痛

考 執 者 貴 族 院

の 任 務 又 は 只 か とも 知

勉 強 政 治 亦 は 其 別 途

と 状 体 を 稍 お 勉 め

餘 り の 事 由 治 行 を 二 付

お の 日 曜 日 を 利 用

の侍孫又、只かきるお

魁強政おもる世お迷

く状体くし稍お世こ

解りり望地治住をこ付

おりの日曜と利用

くし疎情のゆ従多

各と久振ゆ高話と

ゆ取袖の仕るこ受

何かよ未分常とと久

在定温保け在是邊

閑漣の罪とまきく

お車にお成り自便

結婚期も能とお行

本日も武田主人と息

荆妻と種々塔敷か

有し今後は尚何と

ゆ世話お来このり免

角首結り美り新

心持

奥方様、お美り鳳

本日も武田夫人

荆妻と種々培教

有し今後は尚信

以世話お成のり免

角並結と妻の

心持

奥方様ご愛の鳳

聲

必途日中昇望

美の事謝也

三月十二日

直林

大隈仁先生

悟者